



三重県PTA連合会
第四十三代会長
山羽賢多郎
(桑名市／精義小)

の課題解決に向けて
対応し活動していく
中、先人たちが築き
上げてきた伝統や手
法の本質を振り返り、
5年先10年先を見据
え、次のステージへ
と進んでいくことが
大切と考えます。

本年度、三重県PTA連合会ではSDGsの視点を取り入れ、さまざまな問題を解決していくため、家庭、学校、地域が

ていただけたら幸いです。

また本年度は全国PTA連絡協議会が主催します日本PTA全国大会、東海北陸ブロック研究大会がコロナ禍ということもあり全てオンラインでの開催となり、多くの会員のみなさまにご視聴いただけたのではないでしょう。例年は各郡市より数名の参加者を

そして全国のPTAの活動を知っていただけたら幸いです。

多くのヒントがそこにあり、みなさまのPTA活動が今後より発展していくことを願っております。

結びになりますが、会員のみなさまの益々のご活躍ご健勝と各PTAの発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

日本PTA全国協議会 年次表彰式

令和3年11月19日、ホテルニューオータニ（東京都）にて、令和3年度日本PTA全国協議会年次表彰式が開催され、三重県から3団体、個人4名が表彰されました。

おめでとうございます。

表彰者

文部科学大臣表彰 団体

伊賀市立阿山中学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰 団体

津市立南郊中学校PTA
多気町立勢和小学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰 個人

岸田 輪 史
山下 智 子
山部 貴 子
松田 唯



六者懇の予算要望

教育予算の充実を求め署名提出

県PTA連合会、県小中学校長会、県教職員組合など六団体でつくる「県教育関係団体懇談会」（六者懇）が、令和3年11月17日に三重県庁を訪れ、一見知事、木平教育長に対して、令和4年度当初予算で教育関係の予算を充実させるよう求める1、863者の署名を提出いたしました。

六者懇を代表し、一見知事に署名を手渡した山羽賢多郎会長（県PTA連合会会長）は、会談のなかで、「三重の将来を担う子どもたち一人一人に行き届いた教育ができるよう、格段のご配慮を賜りたい」と強く要望をいたしました。



東海北陸ブロックPTA 情報交換会

令和3年12月11日（土）に富山県富山市にて第20回東海北陸ブロックPTA情報交換会が開催されました。東海6県1市から28名が参加し、東海北陸ブロック各地区の活動報告や今後の活動等についての協議・情報交換がなされました。

特に、今年度はコロナ禍の影響によりライブ＆オンデマンド配信での開催になりました。第77回日本PTA東海北陸ブロック研究大会と令和4年度開催の「第78回日本PTA東海北陸ブロック研究大会名古屋大会」について協議されました。



家庭教育委員会 開催報告

10月13日（水）県内の各都市P連（19ブロック）より委員が集まり、第2回委員会として研修会を開催しました。講師に、大須賀由美子氏（三重県教育委員会学校防災アドバイザー／だんだんキッチン代表）をお迎えして『防災ははじめの一步 防災講座ソナエゴハン』と題して、実際に調理の手順を確認しながら災害時の食と調理についてポイントなどを講演いただきました。

自身が被災した阪神淡路大震災の経験を交えながら日頃の備えから地震が起こった時にどうしたら良いか、自らの命を守るためにも防災教育で正しい知識を学ぶことの大切さを教えていただきました。また、防災食では、ポリ袋を使った湯煎調理法を紹介。時短調理として日頃のご飯作りでも活用できるレシピは、災害だから特別なことをしなくてはいけないという思いを変えてくれました。便利な防災食もありますが、乾物など日頃使っている食材や調味料を1つ余分に買うことが防災の備えになることや、日常の備えが防災の備えになることを学んだ研修会となりました。

また、2月1日（火）には、第3回委員会を開催しました。大嶋啓介氏（株式会社てっぺん取締役会長）を講師にお迎えして、『夢を持てば人は輝く』夢は必ず叶うと題して講演いただきました。家庭教育委員会として初めて、会場とZoomによる配信を用いたハイブリッド方式にて行い、家庭教育委員の他にも、県P役員、常任幹事も参加し、研鑽に努める貴重な機会となりました。

最高のパフォーマンスを発揮する心の状態、可能性を信じることの大切さなど、保護者のみなさまだけでなくお子さんにも聞いていただきたい内容でした。この大嶋氏による講演内容を、3月20日から4月30日までの期間、三重県PTA連合会のLINE公式アカウントをご登録の方限定で配信予定です。ぜひご登録のうえ、ご視聴下さい。



第77回日本PTA 東海北陸ブロック研究大会

清流の国 ぎふ大会

令和3年10月23日（土）第77回日本PTA東海北陸ブロック研究大会・清流の国ぎふ大会が岐阜県長良川国際会議場で開催されました。今年度は社会情勢を鑑みてライブ配信並びに期間限定のオンデマンド配信という新しいカタチで行われ、東海北陸ブロック6県1市のPTA会員がそれぞれの活動の情報を共有することにより、お互いに協力してPTA活動の振興に資する機会を提供してくれました。

大会主題に「GIFTR（ギフ）かけがえのない贈り物を子どもたちへ、岐阜人（ぎふ）から」を掲げたこの大会には、未来に向かって世界に羽ばたく力を身につけた子どもたちを育むために、将来を見据えたこれからの教育のあり方と家庭力を地域と共に学んでいきたい、という思いが込められているそうです。

全大会では、ロケット開発者である（株）植松電機代表取締役 植松努氏の記念講演「思うは招く」を視聴させていただきました。「思いは招く」という言葉を信じて夢を実現することができた植松さんからは、子どもたちが主体的になって夢を抱くことの大切さ、私たち大人は夢のあきらめ方を教えるのではなく、夢や希望を共に見ることができ存在である必要性など、他にもこれからの予測困難な社会を生き抜く子どもたちの未来に向けて、私たち大人が果たす大切な役割をたくさん教えていただきました。

分科会は、家庭教育・学校支援・地域連携の6つの分科会に分かれ、三重県からは第2分科会（家庭教育B）で亀山市立野登小学校PTAが「野登小学校卒業証書づくり」三極（ミツマタ）の木から卒業証書まで」というテーマで実践発表を務められました。

児童が地域の方に手書き和紙作りを体験させていただいたことがきっかけで卒業証書作りがスタートし、PTAや学校が中心となってその作業を学校で引き継いでいく過程において、野登地区にある良質の紙の原料である三極（ミツマタ）を使用して卒業証書を作ることが地域と連携した活動になるのではないか？という思いから、努力を重ねて行錯誤の上、現在の卒業証書作りにつながる工程を確立することができたようになったそうです。発表の最後は「今後は学校の校庭で児童が6年間育てた三極で和紙を作り、児童、保護者、教職員で地域とつながりのある卒業証書を作っていきたい！」という熱い思いで締めくくられていました。

今回の発表を通じて、児童の大切な人生の節目とも言える卒業という場面において、昔からの人々の想いを引き継ぎ、家庭や地域が学校と共にしっかりと関わっていくこと、共に子どもたちを育んでいくことの大切さを学ぶ貴重な機会になったのではないかと思います。

この大会を通して、主体的で対話的で深い学びを実践するPTAの活動姿勢から、これからの創造性豊かな未来を切り拓いていく子どもたちに贈りたい「生き抜く力」について学ぶことができる貴重な機会となりました。



実践発表（第2分科会）亀山市立野登小学校
三極の木から卒業証書をつくる児童たち

令和元年に鳥羽東中学校への統合が決定されてから、あっという間に月日は流れ、令和4年3月31日に閉校を迎えようとしています。昭和22年5月開校時は相差町・畔蛸町・千賀町・堅子町・国崎町5地区から通学し、多い時には300名あまりの生徒が通学していました。現在は相差町・畔蛸町・国崎町から、38名の生徒が通学しています。

新型コロナウイルス予防のため、7月14日「相差天王くじら祭り」は2年とも中止となり、くじら神輿の担ぎ手である中学生やマーチングバンド演奏を披露する弘道小学校の子どもたちもとても残念な思いを持ちました。それでも、昨年は静岡方面へ行き先を変えての1泊2日の修学旅行、新規事業所を開拓しての職場体験学習など行事を継続しました。今年は年度当初から「長岡中学校閉校記念事業実行委員会」が立ち上がり、閉校記念誌の編集をはじめ、思い出に残る行事づくりを進めてきました。

閉校となる学校の紹介

2階教室から見える海
～75年の思い出とともに～

鳥羽市立長岡中学校

- 10月21日(木) 最後の小中合同運動会
- 10月30日(土) 文化祭での郷土料理作り・ドローンによる人文字撮影
- 1月下旬～2月上旬 閉校記念壁画製作
- 3月中旬 長岡中学校「ありがとう」大掃除
- 3月25日(金) 閉校記念式典・最後の同窓会



今年度の行事も、9月の緊急警戒宣言等で延期されたものも多かったですが、「最後の」小中合同運動会、小中合同避難訓練、小中防災学習等、中学生としての自覚を持ちながら地域の一員として成長してきた子どもたちの姿がありました。

3月で閉校となりますが、この地域の人たちが大事にしてきた「人とのつながり」や「地域を盛り上げたい」気持ちを今一度確認しながらPTAの一人として子どもたちを見守っていきたいと思います。

津市PTA連合会

津市PTA連合会では、11月に「親子ふれあいフェスタ」として、小学生の親子を対象に、「親子で星を見る会」、「親子でカブラで遊ぼう」、「親子でスタッキングで遊ぼう」の3つの事業を開催しました。

「親子で星を見る会」は、11月6日(土)、安濃総合公園体育館・運動公園にて児童、保護者あわせて41名にご参加いただき開催しました。まず体育館にてプロジェクトを用いて、講師の辻井理さんから、秋の星座についてユーモアを交えて分かりやすく説明いただき、その後、『星座早見傘』の作成を親子で協力しながら取り組みました。残念ながら当日は曇りのため、実際に天体望遠鏡で星を見ることは叶いませんでしたが、保護者と子どもたちが楽しそうに傘に星座を書き込む姿が印象に残る事業となりました。

「親子でカブラで遊ぼう」は、11月14日(日)、津市安濃中央総合公園内体育館において、午前と午後の2回、46名の親子にご参加いただき開催しました。みえこどもの城から講師を招き、カブラと呼ばれる木の板を、さまざまに積み上げ作品をつくりました。真剣に1枚1枚積み上げる子どもたちの集中した姿や、積み上げたときの子どもたちの得意げな姿が見られるなど、親子でカブラを用いて楽しい時間を過ごすことができました。時折、子ども以上に真剣な眼差しで、積み上げる大人の姿が見られたりもしました。

「親子でスタッキングで遊ぼう」は、カブラと同じく11月14日(日)に、津市高茶屋市民センターにて、午前と午後の2回、48名の親子にご参加いただきました。橋南スポーツクラブの方を講師に招き、カップと積み上げて戻すタイムを競う、スポーツスタッキングを体験しました。専用のカップを使ったレクリエーションから始まり、競技のタイムを測定するところまで子どもも大人も白熱し、最後にグループ対抗で行ったリレー方式のスタッキングはとても盛り上がりしました。

コロナ禍のなかではありますが、親子ふれあいフェスタとして開催した3つの事業にご参加いただいた親子のみなさま、また講師の方々、当日運営いただいた津P連の子ども未来交流委員会のみなさんに改めて感謝申し上げます。

各都市P連の活動紹介



桑名市PTA連合会

桑名市PTA連合会では「いつもいつも全ての活動に愛を込めて 桑名市PTA連合会」をスローガンにコロナ禍の中、出来る活動子どもたちのために愛をこめて活動してきました。

幼稚園部では今年度も「えほんうた・あそびうたライブ」として絵本にメロディーをつけて歌う西村直人さんをお願いしました。絵本ライブをDVDに録画していただき、各園にて上映会を行いました。またDVDの映像をオンラインにて限定配信していただき、さらにご家族でも楽しんでいただくことができました。上映会では、昨年度も好評でしたが今年度もお絵かきあり、仮装あり、楽器ありで各園、終始大いに盛り上がりがありました。いつか西村直人さんと園児たちが絵本ライブで直接会える日がくることを願うばかりです。

小学校部では「親子で学ぶ食育」として日本福祉大学から山本和恵先生をお招きし、食育の講演会を小学校部の部員の希望者のみ集まり開催しました。子どもの年代、性別に適した食量やバランス、また子どもたちの成長にとって食事がいかに大事なもののかをわかりやすくお話していただきました。日常生活にとって欠かせない食事ということで質問もたくさんでいていました。この講演会の内容をまとめ、ご家庭でも多くの方に学んでいただけるようにオンラインにて限定配信しました。

中学校部では今年度も勉強会「今どきの高校入試事情」についての講演内容を県の教育委員会にDVDにさせていただき、市内各中学校に配布させていただきました。各校協力のもと感染対策の上、上映会や個人への貸し出し等を行い活用していただきました。「県立高校進学フェスタ」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今年度も中止となりました。大変残念ではありましたが、次年度は開催出来るように「withコロナ」で準備していきたいと考えています。

コロナ禍で、1つの事業を行うのも大変ですが、こんな時だからこそ、みんなで知恵やアイデアを出し合いながら進めていくことは、いつもと違うやりがいがあります。これからも子どもたちのための活動ができるよう、いろんな関係機関と連携をとりながら愛を込めて活動していきます。



名張市PTA連合会

広報紙等のデジタル化にチャレンジ

今までは広報紙が発行され、活動報告等の情報を発信していましたが、コロナ禍で活動自体が制限されていて発信する情報もままならないそんな中、「広報紙」は一体何を伝えればいいのか。存在が非常に曖昧になっています。発行回数も経費の削減もあり年間2回程度の発行になっています。また、せっかくカラー印刷できれいに作った広報紙も、一部では、子どものランドセルの底で忘れられて親に届いてない。さらに届いたとしても読まれていないことも多々あるようでは、一体何のために作っているのか疑問に思うところもあります。

学校もICT化を進めている中、PTAでもデジタル化を進め、広報紙も電子出版化にすれば「予算削減できるかも」「すべての保護者が閲覧できるかも」と意見がありこの話はスタートしました。

乗り越えなければならないハードル

1. デジタル化を進めるにあたり連合会専用の携帯電話を契約ができること
2. 閲覧はスマートフォンを基準にして、保護者に負担がからない方法であること
3. 保護者に電子化のメリットがあること

まずは、携帯電話の契約です。調べていったところ、BIGLOBEは法人格のない学校PTAや協会、組合などでも法人契約ができるコースがありました。実際に電話で問い合わせたところ、特定の審査はあるが、契約は可能、支払いに関しましても銀行引き落としが可能と返答があり、携帯回線の問題はクリアしました。

スマートフォンを使用することが可能になった条件を考え合わせていった結果、最初に思いついたのが「LINEがいいのではないか」ということになりました。保護者も子どもとの連絡にLINEを活用している方も一定数いるとわかってきました。また、活用されていない方もこの機会にLINEの何たるかを把握しておいて、損はないと思います。

こうして広報紙は、LINEを使うという方向で運用を考えることにしました。LINE公式アカウントの料金プランはフリープランで1か月1000通を超えなければ無料でメッセージを配信できます。このプランを利用して無料でできないか考えたところ、名張市では各学年単位で配信すれば1か月1000通を超えないことを確認しました。児童9アカウントと教職員1アカウントを作成し登録していただければ運用は可能になります。退会に関しては、中学卒業時点で削除します。そして新1年生は新たにアカウントを作成する運用をすれば継続可能になります。LINE非利用者への対応につきましては、現時点では申し出によるプリント配布を行う予定です。今後はマチコミアプリも含めた運用も検討中です。

電子化のメリットといたしましては、携帯電話料金で月1回の配信が可能になる。例えば最新情報や危険情報・災害情報をリアルタイムで配信することも可能になります。今までの広報紙では考えられなかったことが可能になります。デジタル配信なので見たい時に閲覧ができます。今後は、簡略化して使いやすいうように改善していきたいと思います。運用をどのようにすれば、保護者の方々に登録して頂けるか試行錯誤している途中です。今後も、「子どもたちのために」を心に最善を尽くしていきたいと思っています。

松阪市PTA連合会

今年度松阪市PTA連合会では、GIGAスクール構想に伴うひとり一台タブレットが配置される中、予測困難な未来を自分たちの力で生き抜いていくために、子どもたちにどのような力が必要なのか?保護者・教職員・教育行政が共に考える機会を持たせていただきました。コロナ禍を考慮して、その様子を動画撮影して動画配信サイト(YouTube)にて期間限定配信を行っております。

講習会では、冒頭に松阪市が取り組むGIGAスクール構想について、中田教育長よりお話をいただき、その後はテーマを2つに分け、第一部では、松阪市の目指すGIGAスクール構想において、教育委員会や教職員の立場で「夢を育み未来を切り拓く力」を育成するために松阪市が行っている取組みについて、熱心に講義いただきました。

それを受けて第二部では、子どもたちが自らの力で創造性豊かな未来を切り拓いていくために、家庭ができる取組みについて「子どもたちの心に触れ、一緒になって楽しみ、そして主役である子どもたちの未来創りに向けて伴走する」...など、保護者自身も自らの言葉で想いを伝え合い、想いを共有し合う時間を持たせていただきました。

今回の講習会を通じて、松阪市が目指す教育の方向性やタブレットから広がる子どもたちの未来について学ばせていただく中で、家庭の果たす役割についても深く考える貴重な機会になったと考えております。

以下、講習会はこちらから視聴いただけます。

《2021年度松阪市PTA連合会オンライン講習会》

タイトル:【ひとり一台タブレットから広がる子どもたちの未来～夢を育み未来を切り拓く力を育成するために～】

出演者:松阪市PTA連合会×三重県教職員組合松阪支部×松阪市教育委員会

第一部:テーマ

『これからの授業や家庭学習って?』

第二部:テーマ

『家庭において保護者のできる取り組みって?』

動画配信期間:

2021.12.20(月)～2022.3.31(木)

QRコード →



四日市市PTA連絡協議会・三重県PTA連絡協議会

北勢地区の四日市市と三重県は「三河地区」と呼ばれ、交流の深い地域です。

6年前に四日市市PTA連絡協議会が歴代の課題であった「高校展」を立ち上げる際に、四日市市教育委員会や当時の教育長のご尽力もあり、三重県も含め「三河地区高校展」という形でスタートを切ることができ、今回の開催で5回目を迎えました。PTAの2つの組織を跨ぎ、行政との調整や、さらに県立高校および私立高校のご参加もいただくという形なので例年調整も難しく、そこで未長くこの企画を続けていけるように今年度より四日市市PTA連絡協議会・三重県PTA連絡協議会の現役役員およびOBで構成する「高校展実行委員会」という外郭団体を改めて立ち上げて、主催「高校展実行委員会」、共催「四日市市教育委員会・四日市市PTA連絡協議会・三重県PTA連絡協議会」、後援「菰野町教育委員会・川越町教育委員会・朝日町教育委員会・四日市市小中学校校長会・三重県小中学校校長会」という形を整えて開催しました。

昨年度は社会情勢を鑑みて四日市市PTA連絡協議会のHP上に「高校展特設サイト」を立ち上げ、各高校より提供いただいた学校紹介の動画と有識者による講演をメインにWEB上での開催を試み、おおむね好評でした。今年度は会場での開催を主として準備を行いました。感染状況の先行きが不透明であることや、開催が半日ということもあり会場とWEB上のハイブリッド開催という形式をとりました。以下が内容の概要となります。

会場開催日時 令和3年11月6日(土)

WEB開催日時 令和3年10月25日(月)～令和4年3月31日(木)

参加校数 県立22校 私立14校(高専含む)

県立展[場所] 四日市市総合体育館

[来場者] 四日市市 613名 三重県 121名

私学展[場所] 四日市市勤労者・市民交流センター本館

(体育館と同じ敷地内)

[来場者] 四日市市 505名 三重県 73名

※WEBの特設サイトには、3,000を超えるアクセスがありました。

今回は感染症対策ということもあり、入口での検温・消毒はもとより対象者に先に記名式の入場券付きチラシを配布して受付で回収しています。またオンライン高校展は各高校の生徒さんが写っている場合もありますので、個人情報保護の観点からロックを掛けてあり、対象者のみパスワードをお知らせするという方法をとりました。

最後になりますが、企画の規模が大きいこともあり、三重県PTA連合会様に申請して受理していただいた「ゆめ基金」は非常に助かりました。ありがとうございました。



令和3年度「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～
三行詩

(公社)日本PTA全国協議会主催の三行詩募集に、県内より445点の応募をいただき、下記の15点を選出し三重県PTA連合会より応募させていただきました。
多くのみなさまのご応募、ありがとうございました。

三重県PTA連合会入賞のみなさん

小学生の部

- 山田 優希 津市立豊津小学校
どんなにつよくあっても 笑顔でつらさ1つも見せないお父さん たまには弱音もきかせてよ 私のお父さんはがんばり屋
- 秋山 響希 津市立美杉小学校
真つすぐばかりじゃない ぼくの言葉もうけとめてくれる あんがい・・・家族は名キャッチャー
- 武藤ゆうじ 津市立香良洲小学校
兄貴よ昨日お前の プリン食ってすまん、だけど 一昨日俺のプリンとポテチ食ったよな？
- 本多 可穂 津市立一志西小学校
先にかがみはわからない 君がわらうとかがみもわらう みんなニコニコえ顔のかがみ
- 松井 優杏 津市立西が丘小学校
「行ってきます」「おやすみ」の時 どんなにいいそいでも どんなにおこっていても しくしくないていても ぜったいにするよ、家族のきまり やさしい「ぎゅう」とほっぺに「ちゅう」

中学生の部

- 大須賀優聖 川越町立川越中学校
母がつくったお弁当 箸は入ってないけれど 愛が入っていた
- 武山 和瑚 松阪市立中部中学校
毎日家族のためにごはんを作ってくれるお母さん。自分はそのお皿を洗って返すのが恩返し。
- 王 運佳 津市立南が丘中学校
「お母さんは食べないの？」「お母さんきらいなの」と私のお皿に増える母の愛、謝謝你
- 小林 蒼朋 伊賀市立阿山中学校
食事中テレビを消して家族で会話 でも今は 静かに食べて命を守る
- 前田 葉奈 松阪市立中部中学校
「ありがとう」「ごめんね」「ただいま」「おかえり」家族で決めた絶対ルールの愛言葉

一般の部

- 富増 有子 伊賀市立府中小学校
「母の日」のプレゼント。ありがとう 私をお母さんにしてくれて ありがとう あなたが居てくれて あなたが笑顔でいてくれて幸せです。
- 鮎田くみ子 津市立一志西小学校
子供の笑顔が 一番の特効薬。子供にとっても 親の笑顔が 未来の輝きに、つながるね。
- 萩原 奈月 津市南が丘小学校
お母さんにはツノがある。怒った時だけ生えるツノ。そのツノが生える時、頭は痛くないけれど、心はとても痛んだ。息子よ、だから、そのツノはできるだけ封印させてくれ。
- 長島あかね 三重大学教育学部附属中学校
我が子の人生 見守るつもりが おせっかい 見守るつもりが 自分の人生
- 西山 聡司 津市立北立誠小学校
我が子との 勝負に全力 お父さん

家庭学習に役立つ



『みえびい学びの応援サイト』の紹介

三重県、三重県教育委員会が取り組む「みえの学力向上県民運動」では、家庭学習に役立つコンテンツを掲載したホームページ『みえびい学びの応援サイト』を運営しています。

「動画を見て、みえびいといっしょに勉強しよう」では、小学校低学年向けの国語、算数、生活、体育に関する動画を掲載しています。県教育委員会のマスコットキャラクター“みえびい”と一緒に、子どもたちが楽しみながら学習できます。

また「学習プリント」では、小中学生を対象にした漢字プリント、小学生向けの計算プリントを掲載しています。子どもが家庭学習に自主的に取り組み、自分の力で解けるように、答えのシートにヒントや解説を掲載しています。

その他、「家での過ごし方」では、生活習慣・読書習慣チェックシートが、「みえネットスキルアップサポート」では、インターネットを安全に使う知識を学ぶことができるように問題プリントを掲載しています。



三重県教育委員会
マスコットキャラクター
“みえびい”

この『みえびい学びの応援サイト』をご覧ください。いただくには、「みえの学力向上県民運動」と検索いただくか、右記のQRコードをスキャンして下さい。



24時間補償!!

三重県PTA
こども総合保障制度

県PTA連合会では、PTA会員のお子さまを対象とした団体保険契約を従来より行っております。

これは、県下に実績を持つ損害保険会社2社の共同保険であり、団体割引・過去の損害率による割引が適用されます。

(総合保障制度に特定感染症補償がセットされているプランについては、新型コロナウイルス感染症の補償対象となります。詳細については、お問い合わせください。)

★保険種類 こども総合保険・自転車総合保険

★保険期間 2021年5月1日より1年間

★案内時期 パンフレット・申込書などは、毎年4月上旬に学校を通じてお子さまへお渡ししています。



(2021年8月現在の内容です。)

★引受保険会社

- AIG損害保険株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 2021年度は、15,000名以上の方が加入しています。

【ご加入に関するお問い合わせ】

AIG損害保険株式会社 三重支店

〒514-0036 三重県津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル2階
TEL: 059-226-3911 <https://www.aig.co.jp/sonpo>
受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く 午前9:00～午後5:00

S-210481 (2022-08)

一般社団法人
三重県PTA安全
互助会だより

一般社団法人

三重県PTA安全互助会 災害補償制度のご案内

共済・保険の種類

傷害共済、PTA賠償責任保険

PTA活動充実発展のためには、各種活動中に生じる事故を防止し、安全教育を徹底するとともに安心して活動できる体制が必要です。そこで本会は、会員がPTA活動中の未然に防ぐことができない事故により災害を受けた場合、一定の補償をし、なお一層円滑な活動の運営を図るために設けられました。

傷害共済金 お支払いの例



- PTA主催のバレーボールでアキレス腱を断裂した。



- PTA主催の会議に行く途中、自転車で転んでケガをした。(PTA行事に参加するための所定の場所と自宅との通常の経路の往復の場合)



- PTA主催の視察・研修の途中、乗っていたバスが交通事故にあつてケガ、または死亡した。



- PTA主催のプール開放中転倒しケガをした。

賠償保険金 お支払いの例



- PTA主催の草刈り中、草刈機に当たった石がはね、近くに止めていた車の窓ガラスを破損した。



- PTA主催のソフトボールで打者が打った球が体育館の窓ガラスに当たり、割れてしまった。



- PTA主催の運動会のため、テントのポールを数人で運搬中、ボールの端が止めてあった車に接触し、車を傷つけてしまった。

※ルールに従ってプレーしているスポーツ中の参加者の賠償責任は問われませんが、あります。

○共済金・保険金を受けられる対象者

- ◆PTA会員（保護者・教職員）、協賛会員
- ◆加入PTAの所属園児・児童・生徒、および同居の親族



〒514-0061

津市一身田上津部田1234 三重県生涯学習センター2F

一般社団法人 三重県PTA安全互助会

TEL: 059-233-0910 FAX: 059-233-1164

詳細につきましては、上記へお問い合わせください。